

2025年度 自己推薦入試【基礎学力型】

国 語

〈全学部全学科共通問題〉

11月2日実施 A日程

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の冊子を開かないでください。
2. 本冊子には、19ページの問題文があります。
3. 解答用紙は、すべてマーク・シートになっています。
4. 監督者の指示で、受験番号欄に受験票に記載されている受験番号（数字6桁）を縦に記入し、それぞれ右のマーク欄にマークしてください。受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。氏名欄に氏名も忘れず記入してください。
5. 解答科目欄には、解答する科目を1つ選び、マークしてください。
6. 解答は、設問の箇所に指示されている解答番号の解答欄にマークしてください。例えば、と指示されている設問に対して、③と解答する場合は、次の例のように解答番号20の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
20	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7. 解答番号は～です。～の解答欄には何も記入しないでください。
8. マークは、硬度HB以上の鉛筆を使用し、訂正する場合は消しゴムでていねいに消し、消しくずを残さないように注意してください。
9. 解答時間は、60分です。

問題Ⅰ 次の(一)(二)の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(一)

多くの人には「知識なり、技能なりは伝えることができる」という信念があると思う。先生なり師匠なりが、何らかの適切な方法を使えば、彼らの中にある知識、技能が、生徒、弟子に伝わるはずだ、と考えている。つまり、知識は持ち運んだり、誰かに渡したり、誰かから受け取ったりできることを意味する。実際、何かを教わってできるようになった経験は誰にでもあるだろうから、知識は受け渡しが可能であると考える人は多いと思う。

こうした信念の表れは「図書館は知識の宝庫だ」、「本は知識の泉だ」などという言葉にも表れている。書籍には先人が発見した、獲得した知識が記載されており、それを読むことで知識が得られると考える。また学校では知識や技能を教えると言われる。先生は教科書を使い、さまざまな事柄を教える。漢字の読み方、北斗七星の現れる場所と時期、因数分解の仕方、ブレトン・ウッズ体制、さらには給食の食べ方まで、いろいろな種類、構造の知識を伝えようとして努力されている。これは知識は誰かから誰かへ伝わると信じているからだ。

ところが、^ア残念ながらそうではない。書物は知識を文字に表したものであり、それ自身は知識ではない。「リンゴ」という文字、言葉が、本物のリンゴではないのと同じことだ。だから書物を読んでも、そこから知識を得ることはできないのだ。それが表すのは「情報」であり、もしそれを覚えたとすれば「記憶」となる。同様に、先生たちは知識を教えているのではない。それは右の例と同じ理由だ。先生が伝えるのは情報で、運良く生徒がそれを覚えればその生徒の記憶となる。しかしそれらは伝えられただけであり、もしそのままならば単に記憶、情報としてとどまるだけなのだ。

ここまで読んでこられた読者は、「お前の言う知識とはなんなんだ」と言いたくなると思う。伝統的な哲学では、「正当化された、真なる信念」と言われる。キーワードが3つあり、それが知識の3つの条件となっている。第一に、「真なる」

という言葉が示すように、それは真、つまり正しくなくてはならない。第二に、「信念」というわけだから、それを信じていなくてはならない。そして最後に、「正当化された」とあり、それは真である根拠が存在するということである。

ただ私はここでそういう知識を取り上げたいわけではない。有用な知識について考えてみたいのだ。役立つ、意味のある知識といってもよい。というのも、右の定義で言うと「私の目の前のクレジットカードの上にUSBメモリーがある」というのも知識になるからだ（証拠として写真を載せてもいいのだが、インクの無駄になるのでやめておく）。これは私以外の人にはなんの役にも立たないし、意味もない。つまり、有用ではないからだ。

さて別の本（拙著『教養としての認知科学』東京大学出版会）に書いたことだが、Aを持つ知識というのは、以下に述べる3つの性質を持っていないかならなければならないと思う。1つめは一般性である。一般性とは簡単に言うといろいろな場面で使えるという性質を指す。ウガンダの首都は多くの日本人にとって使う場面はほとんどない。せいぜい早押しクイズのような場面でしか使えない。そうしたものは一般性を持つとは言えない。重力加速度が 9.8 m/s^2 ということを知るだけであれば、小学生でもできるだろう。しかしそれは知識ではない。それを用いて考えることができないからだ。

もう1つの性質は関係性である。孤立した知識はほとんど何の役にも立たない。知識というのは他の知識とリッチな関係を持っていないかならならない。昔日曠日の朝早く電車に乗っていたら、これから塾に行く小学生たちが、「イワンの馬鹿」、「トルストイ」、「赤と黒」、「スタンダール」などと言いつつ合っていた。これは本当に意味がない。イワンの馬鹿がどんな小説であり、トルストイがどんな人物であるのか、どんな時代に生きたのか、なぜトルストイはそんな小説を書いたのか、原題となったものは何か、そういうことが繋がらなければ、クイズ王くらいにしかかなれない。【 1 】

最後は場面応答性である。知識はそれが必要とされる場面において発動、起動されなければならないというのが場面応答性である。重力加速度についての知識は、それが必要となる場面で、例えば落下物体の速度を求めるという場面で起動

しなければならない。恋人のことを考える時、テレビのチャンネルを変える時にそれが発動しても役に立たない。【 II 】

¹
このように知識を捉えようと、ある事柄が伝えられた途端、知識として定着することは原則的にないことが容易に理解できるだろう。伝えられた事柄、本で読んだ事柄がどのような範囲をカバーするのか、それは他の知識とどう関係するのか、そしてどこで使われるのか、そうしたことを考える作業を行わない限り、その事柄は単に記憶としてしか存在せず、知識とはならないのだ。

こういう考え方を構成主義 (constructivism) と言う。相手からの情報、その記憶が知識となるためには、それらの素材を用いて知識として構成していかなければならないのだ。構成するのはもちろんあなただ。あなたのこれまでの経験は人と異なるだろうし、これから出会いそうな場面も異なるだろうから、構成される知識は人によって少しずつ異なってくる。より多くの関連した知識と結びつきを作ったり、その知識がカバーする事柄をたくさん経験した人が構成する知識は、単にクイズのように覚えた人のそれとはまったく異なったものとなる。【 III 】

いくつか捕足しておきたい。「自分で考えて」と言っただが、それは何も意識的に考えることだけを意味するわけではない。第5章で詳しく述べるが、私たちに無意識の働きというものがある。これが勝手に、それまでに貯えたいろいろな他の知識との結びつきを作ってくれるし、それが働く場所も勝手に見つけてくれる場合も多々ある。頭を抱えて「この知識はどこで使えるのだ、他とどんな関係があるのだ」と悩まなくてもよいことも多い。そういう意味で「知識は創発する」と言ってもよいだろう。【 IV 】

もう一つは伝えられたことについてすぐに「なるほど」と思えるようなケースについてである。この場合は、伝えられた情報、あるいはその記憶から知識を構成するために十分な経験や関連した知識が存在している。だから努力している人へのアドバイスは、すぐに伝わるように見えるのだ。ちなみにこうしたことが自動的に行われる経験が、知識が伝達可能であるという信念を支えているのだと思う。一方で何もやっていない人には、同じことを言っても何も伝わらない。せい

ぜい記憶にとどまるだけだ。

最後の一つは、では記憶はなんの意味もないのか、ということについてである。それは「ある」、というか「ある時もある」というのが答えだ。さつぱり経験のない段階で何かのことを教わっても、ほとんどそれは意味がない。しかし、あなたは成長する、経験を重ねる。こうした段階になると、昔はちんぷんかんぷんだったことが意味を持つようになることがある。だから情報の伝達、その記憶が意味がないというわけではない。

子供も含めた学習途上の人間が知識を作るなどという大それたことなどできるはずはないと考える人たちはたくさんいると思う。しかし、そうではないことは人間の歴史が証明している。未知の問題を解決しようと努力している科学者たちは、その途中では誰も解はわかっていない。解決に必要な知識も十分ではないというか、何が必要な知識かもわからない。しかし集団の力でそれを作り出してきたのだ。同じことはより小さな組織、学級、会社などにおいても実際に起きている。だから子供は成長するし、会社は事業を続けるし、人類は進歩する。ここでは協働、つまり集団の力というものが大きい。(中略)

人材開発、組織開発分野の研究で大活躍している中原淳は、「知識の消費者から知識の生産者になれ」と述べている。私もその通りだと思う。教えてもらったことを覚えて、それを適当な場面で使うという考え方は放棄した方がよい。

(鈴木宏昭『私たちはどう学んでいるのか』)

問一 傍線部ア「残念ながらそうではない」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1

- ① 知識は言葉にして初めて伝達可能なものになるから。
- ② 先生が生徒の記憶に残るように伝えた情報こそが知識となり得るから。
- ③ 先人が発見し、獲得した知識は情報として書籍に記されているに過ぎないから。
- ④ 何かを教わってできるようになる経験は努力によるものだから。

問一 空欄 A に入る語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 2
- ① 真実性
 - ② 信頼性
 - ③ 正当性
 - ④ 有用性

問二 傍線部「このように知識を捉えると」とありますが、「このように」が示している内容に含まれるものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 3
- ① 知識は早押しクイズで出題されるような一般性を持っていること。
 - ② 知識はそれが必要とされる文脈において役に立つこと。
 - ③ 知識はクイズ王の脳内のようにリッチな関係性を持っていること。
 - ④ 知識は正当化されたものであり、真である根拠が備わったものであること。

問四 この文章の【 I 】～【 IV 】のいずれかには、次の一文が入ります。その場所として最も適切な場所を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

難しい言葉で言えば、知識というものは「属人的」なものなのだ。

- 4
- ① 【 I 】
 - ② 【 II 】
 - ③ 【 III 】
 - ④ 【 IV 】

問五 本文の内容に一致するものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

5

- ① 知識は受け渡し可能なものではなく、各人が経験を通して構築するものであるが、必ずしも独力で得ているわけではない。
- ② 伝えられた事柄、本で読んだ事柄が有用な知識となるためには、それまでに貯えられたいろいろな知識と意識的に結びつける作業が不可欠である。
- ③ 経験の浅い子供に教える際は、記憶が定着するように、知識が必要となる経験を重ねた後に教えることが重要である。
- ④ 一問一答のクイズ問題に数多く答えることができる者は、受け渡し可能な知識を数多く有しており、知識の生産者と言える。

(二)

そもそも、生き物にとって「強さ」とはいったい何だろうか。

どうも、自然界で生き残る強さというのは、私たち人間がイメージする「強さ」とは、少し異なるようだ。私たちが強いと思いこんでいる生き物が、じつは弱かったり、弱いと思っている生き物が、じつは強かったりするから面白い。

まずは、私たちが「強い」と思っている生き物と、「弱い」と思っている生き物の真の姿を見てみることにしよう。

ライオンは、百獣の王である。恐ろしい^{きば}牙、鋭い爪、どんな動物をも震え上がらせるうなり声。まさに最強の生物と言っていていいだろう。

A、ライオンに食べ尽くされてシマウマが滅びてしまったという話は聞かない。むしろ、絶滅が心配されているのはライオンの方である。どうして、食べられているはずのシマウマよりも、食べているはずのライオンの方が絶滅の危機にあるのだろうか。

食う食われるの関係を「食物連鎖」という。植物を食べる草食動物がいて、その草食動物を食べる肉食動物がいる。さらに強い生き物が、肉食動物を食べる。自然界はこのような関係で成り立っている。

シマウマとライオンの関係では、肉食動物はライオンだけだが、通常は肉食動

物を食べる肉食動物もいて食物連鎖がつながっていることが多い。たとえば、植物を食べるバッタがいて、バッタを食べる肉食のカマキリがいて、カマキリを食べる肉食のスズメがいて、スズメを食べるタカがいる、というようにより強い者が弱い者を食べて食物連鎖がつながっていくのである。こうしてできあがるのが「食物連鎖の **B**」と呼ばれるものである。

B の底辺の生物ほど数が多く、頂点に行くほど数が少ない。たとえば、タカが一〇羽のスズメを食べ、スズメが一〇匹のカマキリを食べ、カマキリが一〇匹のバッタを食べているとすると、一羽のタカが生きていくためには一〇×一〇×一〇で一〇〇〇匹のバッタが必要になる。つまりタカは、バッタが一〇〇〇匹いなければ、生きていくことができない存在なのである。タカは生命はバッタに依存した、か弱いものなのだ。

同じように、百獣の王を誇るライオンも、エサとなるシマウマのような草食動物が少なくなると生存することができない、か弱い生き物である。

絶滅が心配されるほど減っている生物を絶滅危惧種という。じつは、コンドルや、シベリアトラ、ヨーロッパオオカミなど、強いと言われる猛禽類や猛獣の多くが、今や絶滅危惧種に名を連ねている。

生物にとって「強さ」とは何か？ それはするどいキバやとがったツメを持つことではない。生き残ることができなければ、それは強さとは言えないのだ。

昆虫の世界に目を向けてみよう。昆虫の世界でもっとも強い虫は何だろうか？ 鎌ですばやく獲物を捉えるカマキリか？ 巨大な角を持ったヘラクレスオオカブトムシだろうか？ はたまた、鋭い針を持ったスズメバチか？

意外なことに、昆虫界でもっとも強いとされているのは、アリである。

そう言われても、にわかには信じられないかも知れない。何しろ人間は、アリを一蠚ちがんこと呼んで下に見ている。子どもの頃に、アリの踏みつぶしたり、砂に埋めたり、アリの巣に水を入れたり、とさんざん残酷な悪さをした思い出を持つ方も少なくないだろう。

しかし実際には、多くの昆虫はアリを恐れているのだ。

アリは集団で襲いかかるので、どんなに強い昆虫もひとたまりもない。悍猛な肉食のカマキリやキリギリスが、まだ生きているうちにアリに襲われて、運ばれていくようすを見掛けたことはないだろうか。

人間が恐れるハチさえも、アリを恐れている。ハチの巣は、木の枝についている基の部分が細くなっている。これは、アリに巣を襲われないためといわれている。ハチは、この細い支柱にアリが嫌がる物質を塗りつけて、アリの襲撃に備えているのである。

生物にとって「強さ」とは何か？ それはけっして C でも力の強さでもないのである。

日本の家紋によく使われる十大紋は「鷹の羽、橘、柏、藤、おもだか、茗荷、桐、鷲、木瓜、かたばみ」であるとされている。

このうち鷹の羽を除く九つは、すべて植物である。日本の家紋は植物をモチーフとしたものが多い。

一方、ヨーロッパの紋章を見ると、獅子や鷲、ユニコーンなど、いかにも強そうな動物が居並んでいる。日本にも強そうな生き物はいそうなものなのに、日本人は、どういうわけか食物連鎖の底辺にある植物をシンボルとしているのである。

見るからに強そうな生き物ではなく、何事にも動じず静かに凛と立つ植物に日本人は強さを感じた。そして、自らの紋章として選んだのである。

不思議なことに、十大紋のうち、「おもだか紋」と「かたばみ紋」は雑草である。特に戦国時代に活躍した勇猛な武将は、雑草の家紋を好んだ。オモダカは田んぼに生えるしつこい雑草である。ところが武将は、この雑草を「勝ち草」と呼んで尊んだのである。また、カタバミも畑や道端に生える小さな雑草に過ぎない。どうして、戦国武将は、雑草の家紋に選んだのだろうか。

田んぼや畑の雑草は、抜いても抜いても生えてきて、どんどん広がっていく。戦国武将はこのしぶとさに子孫繁栄の願いを重ねたのである。戦国武将にとって、もっとも大切なのは、生き残って家を存続させていくことである。百戦錬磨の猛者たちは、田畑の小さな雑草にそんな強さを見出していたのである。

よく「雑草のようにたくましく」という言い方をする。抜いても抜いても生えてくる雑草には、強い植物というイメージがある。ところが、植物の世界では雑草は強い植物であるとはされていない。むしろ、雑草は「弱い植物である」と言われている。

ア
これは、どういうことなのだろうか。

植物は、光や水を奪い合い、生育場所を争って、激しく競争を繰り広げている。雑草はそのような植物間の競争に弱い。そのため、たくさんの植物が生い茂るような深い森の中には、雑草と呼ばれる植物群は生えることができないのである。

そこで雑草は、他の植物が生えることのできないような場所を選んで生息している。それが、よく踏まれる道ばたや、草取りが頻繁に行われる畑の中だったのである。

庭の草むしりに悩まされている方も多いただろう。残念ながら抜いても抜いても生えてくる雑草を完全に防ぐ方法はない。ただ雑草をなくす唯一の方法があるとすれば、それは「草取りをやめること」であると言われている。

草取りをしなくなれば、競争に強い植物が次々と芽を出して、やがて雑草を駆逐してしまう。そのため、草取りをやめれば、雑草と呼ばれる植物はなくなってしまうのである。もともと、雑草がなくなった代わりに、そこには大きな植物が生い茂って群雄割拠の深い藪になってしまうから、もともとやつかいである。

私たちは、雑草は強いと思う。しかし、実際には草取りをされるような不人気な場所でなければ生きることのできない弱い植物だったのである。

(稲垣栄洋『弱者の戦略』)

問一 空欄 A に入る語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 6
- ① なぜなら
 - ② たとえば
 - ③ ところが
 - ④ もしくは

問二 空欄 B に入る語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

7

- ① トーナメント
- ② パラダイム
- ③ ライフライン
- ④ ピラミッド

問三 空欄 C に入る語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

8

- ① 粘り強さ
- ② 数の多さ
- ③ 大きさ
- ④ 賢さ

問四 傍線部ア「これは、どういうことなのだろうか」とありますが、その回答として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

9

- ① 雑草は抜いても抜いても生えてくるため草取りに終わりがなく、植物間の競争にも終わりが見えないこと。
- ② 雑草は光や水を奪い合い生育場所を争う競争に負けることが多く、草取りが行われなような深い藪にしか生息できないこと。
- ③ 雑草は庭の草むしりに悩まされる人間にとって厄介な存在であるが、草取りをやめれば、やがて人間が勝利すること。
- ④ 雑草は他の植物との競争において弱者であり、人間による草取りが頻繁に行われるような不人気な場所に生息するしかないこと。

問五 本文の内容に一致するものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 草食動物は肉食動物に食われるが、ある意味強いと言える。エサとなる草は抜いても生えてくるほどたくさん生息しているため、生き残りに有利である。
- ② 自然界における「強さ」は私たちが思い描くような単純なものではない。アリの天敵は人間であるが、食われるわけではないため絶滅危惧種となる心配がない。
- ③ 日本とヨーロッパでは、「強さ」の価値観が異なる。戦国武将が家紋として好んだように、植物界において雑草は強い生物の代表である。
- ④ 自然界における「強さ」とは、決して他者を打ち負かすことではない。生物にとって重要なのは、生き残ることであり、生き残ったものが強いと言える。

問題Ⅱ 次の各問いについて、その解答を選択肢の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

問一 次の①～④は動物の名が入ることわざです。空欄に入る語が異なるものはどれですか。

- 11
- ① 竹□の友
 - ② 尻□に乗る
 - ③ □の耳に念仏
 - ④ 暗がりから□

問二 次の傍線部の慣用的表現のうち、適切でないものはどれですか。

- 12
- ① 私の上司はすばらしく頭が切れ、完璧に仕事ができる。
 - ② 父は頭が古いので、いつも私と意見が衝突する。
 - ③ あなたのその考えは頭が低いよ。もっと柔軟に対応しなさい。
 - ④ 人のために働いても、まったく自慢しない彼には頭が下がる。

問三 次の外来語の意味として、最も適切なものはどれですか。

- 13
- ダイバーシティを認めることは、豊かな社会をつくる上で欠かせない。
- ① 多様性 ② 画一性 ③ 独立性 ④ 社会性

問四 次の【 】内のようなとき、の部分に入る最も適切な表現を、後の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

【面接試験で自己アピールをするとき】

- 14
- 私は高校入学時から。
- ① ボランティア活動を続けて参りました
 - ② ボランティア活動をお続けいたしました
 - ③ ボランティア活動をお続け申し上げました
 - ④ ボランティア活動を続けさせていただきました

問五 次のカタカナの熟語の表記として、最も適切なのはどれですか。

15 留学生の本学への受け入れタイセイを整える。

- ① 大勢 ② 体性 ③ 態勢 ④ 耐性

問六 次の熟語のうち、音と訓の混ざった読み方をするものはどれですか。

16 ① 番組 ② 番号 ③ 組織 ④ 骨組

問七 次の熟語のうち、上と下の漢字が示す意味の関係が他と異なるものはどれですか。

17 ① 越権 ② 実権 ③ 主権 ④ 人権

問題Ⅲ 次の(一)(二)の、各ア～オは順不同に並んでいます。論旨の通る最も適切な順序を、あとの①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(二)

ア 「気を養うためには、義を行なうことを踏み重ねて行かなければならない。しかし、気を養うという目的を以て義を行なってはならない。そうかといってまた、気を養うということを全く忘れてもいけないし、また無理に気力を助長しようとするのもよろしくない。」

イ 『孟子』の公孫丑篇に引かれている寓話である。この寓話は、孟子が弟子の公孫丑の質問に答えて「浩然の気」を養うためにはどうすればよいかということ語るなか引用されている。

ウ 宋の国の農夫が、自分の畑の苗の生長がはかばかしくないのを気に病んで、ある日、一本々々引き伸ばし、へとへとに疲れて家に帰ってきた。そして家の者に、

「きょうはひどく疲れたよ。苗の生長を助けてきたのでな」といった。

息子がそれをきいて畑へ走って行って見ると、苗はみんな枯れていた。

エ つまり「助長」とは、無理に成長させようとして強いて力を添え、かえってそのものを害してしまうことをいう。勿論、助けて長ぜしめるという文字どおりの意味もあることは、いうまでもないが、強いて助長しようとすることは「無益であるどころか、かえって有害である」場合の多いことも、またいうまでもなからう。

オ そして、苗の生長を助けようとした男の話を引き、つづけて次のようにいう。

「世の中には、無理をして苗の生長を助けようとする者が少なくはない。勿論、気を養うことは無益だとして何もしないことは、田の草取りもしないのと同じであって、よろしくないことである。しかし無理に養おうとすることは、苗を引き抜いてしまうことと同じであって、無益であるどころか、かえって有害である。」

(駒田信二『中国故事はなしの話』)

- ① ア ↓ イ ↓ ウ ↓ エ ↓ オ
 ② ア ↓ エ ↓ ウ ↓ イ ↓ オ
 ③ ウ ↓ イ ↓ ア ↓ オ ↓ エ
 ④ ウ ↓ エ ↓ オ ↓ ア ↓ イ

(二)

ア 仏教では、人の恨みは人間関係に起因すると分析していて、人とのつながりが全ての悩みの原因になるから、そこから離れて独りになってみるこゝとが大切だと説かれている。

そういう状態は淋しい、孤独で避けたいと思う人が多いが、実は決して淋しくも辛くもない。

イ その意味は、

「サイの頭にある太い一本の角。その角のように独りで考え、独りで自分の歩みを決めなさい」

それぞれが自分の解釈で、仏の教えを広めればいい。どう解釈してもいいし、これからの生き方は自分で決めなさい。

厳しい教えであるが、真実を物語っている。

ウ 「犀の角のようにただ独り歩め」

仏陀の言葉である。死を前にして、沢山の弟子たちに囲まれて言つたとされる。

仏陀が亡くなつたら、何を頼りに生きてらいいのか、弟子たちがその指針を示して欲しいと頼むと、仏陀はこう答えた。

エ サイの中でもインドサイは、群れで行動しない。単独で行動するので、「犀の角」とは「孤独」を意味する。

オ 沢山の人に囲まれていながら、誰も自分を見てください、声もかけてくれない。目の前の人とつながれない時に感じるのが孤独なのだ。

それならいっそ、独りになってみるがいい。独り歩めば、むしろ充実感があり、他人を気にしないですむ。

19

- ① ア → ウ → オ → イ → エ
- ② ア → オ → イ → エ → ウ
- ③ ウ → ア → イ → オ → エ
- ④ ウ → イ → エ → ア → オ

問題Ⅳ 次の各問いについて、その解答を選択肢の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

問一 次はある作品の冒頭です。この作品はどれですか。

やまとうたは、人の心を種として、万のことの葉とぞなれりける。世の中にある人、ことわざ繁はげきものなれば、心に思ふことを、見るもの、聞くものにつけて、言ひいだせるなり。花に鳴く鶯うぐいす、水にすむ蛙かきの声をきけば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神おにあまをもあはれと思はせ、男女の中をも和らげ、猛き武士の心をも慰なぐさむるは歌なり。

- 20 ① 古今和歌集 ② 万葉集 ③ 源氏物語 ④ 枕草子

問二 次の作品名と成立の時代の組み合わせのうち、正しくないものはどれですか。

- 21 ① 好色一代男―江戸時代 ② 竹取物語―平安時代
③ 土佐日記―鎌倉時代 ④ 徒然草―鎌倉時代

問三 次はある作品の冒頭です。この作品の作者は誰ですか。

国境の長いトンネルを抜けると雪国であつた。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。

- 22 ① 武者小路実篤 ② 横光利一 ③ 川端康成 ④ 菊池寛

問四 次の作品のうち、太宰治の作品でないものはどれですか。

- 23 ① 津軽 ② 走れメロス ③ 人間失格 ④ 墮落論

問五 次の詩人とその作品の組み合わせのうち、正しくないものはどれですか。

- 24 ① 萩原朔太郎―月に吠える ② 高村光太郎―道程
③ 石川啄木―一握の砂 ④ 宮沢賢治―邪宗門

問題Ⅴ 次の各問いについて、その解答を選択肢の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

問一 次のA～Dの各群の①～④のうち、傍線部の漢字の読みが適切でないものはどれですか。

- 25 A
- ① 踵(きびす)を返してそのまま逃げる。
 - ② 熾烈(しれつ)な戦いだった。
 - ③ 相手を蔑(ねた)む気持ちができる。
 - ④ 忽然(こつぜん)と姿を消す。
- 26 B
- ① 雑駁(ざつぱく)な知識も役に立った。
 - ② 杜撰(とせん)な仕上がりだった。
 - ③ 上司の逆鱗(げきりん)に触れた。
 - ④ 大工の棟梁(とうりょう)が現場を仕切る。
- 27 C
- ① 昔の記憶を手繰(たど)る。
 - ② 珠玉(しゅぎよく)の文学作品を読む。
 - ③ 作成したグラフに凡例(はんれい)を入れる。
 - ④ 価値観の乖離(かいり)が見られる。
- 28 D
- ① あの人と私は十年来の知己(ちき)である。
 - ② 外国人排斥(はいそ)の問題を議論する。
 - ③ 両親の庇護(ひご)のもとに育つ。
 - ④ 勝敗の帰趨(きすつ)は明らかである。

問二 次のア～エの傍線部と同じ漢字を含むものはどれですか。

- 29 ア イメージをカンキさせる。
- ① 雑誌をカンコウする。
 - ② 証人をカンモンする。
 - ③ 業務をカンスイする。
 - ④ 不正をカンカする。

30

イ 皆の意見がシユウレンされる。

- ① 前例をトウシユウする。
- ② シユウネン深く犯人を追いかける。
- ③ 家宅捜索をして証拠品をオウシユウする。
- ④ 新しい法律をシユウチ徹底する。

31

ウ イツセイに開花する。

- ① シセイを正して着席する。
- ② 校歌をセイシヨウする。
- ③ セイキユウな判断は危ない。
- ④ 後輩をイクセイする。

32

エ 事業の発展にフシンする。

- ① 金属製の鍋がフシヨクする。
- ② 新しい学校に校長としてフニンする。
- ③ フダンの努力による結果である。
- ④ 第一人者としてのジフがある。

